

尾鷲市賀田地区の獣害対策研修会を開催しました！

平成28年8月9日（火）に尾鷲市賀田区避難所で、賀田地区にお住まいの方々を対象とした獣害対策研修会を開催しました。25名ほどが参加されました。



（研修会の様子）

最初に、クマの性質や遭わない・おびきよせないために注意すること、遭遇した場合の対応について、担当者から説明をしました。

今年はクマの出没が多く、賀田地区においても目撃情報があります。クマはとても臆病で、基本的には人を恐れるため、人と接触をしないようにしており、人を襲うことはほぼありません。しかし、至近距離で遭遇した場合や子グマを連れているときなどに攻撃することがあります。

クマとの遭遇を避ける・クマをおびきよせないためには、

- 目撃情報のあった場所には近づかない
- 特に早朝や夕方は注意する（クマが活発に活動する時間です。）
- 音の出るもの（鈴やラジオなど）を持ち歩き、人がいることを知らせる
- エサとなるものを外に置かない

（生ゴミを外に捨てない。お墓の供え物は持ち帰る。）

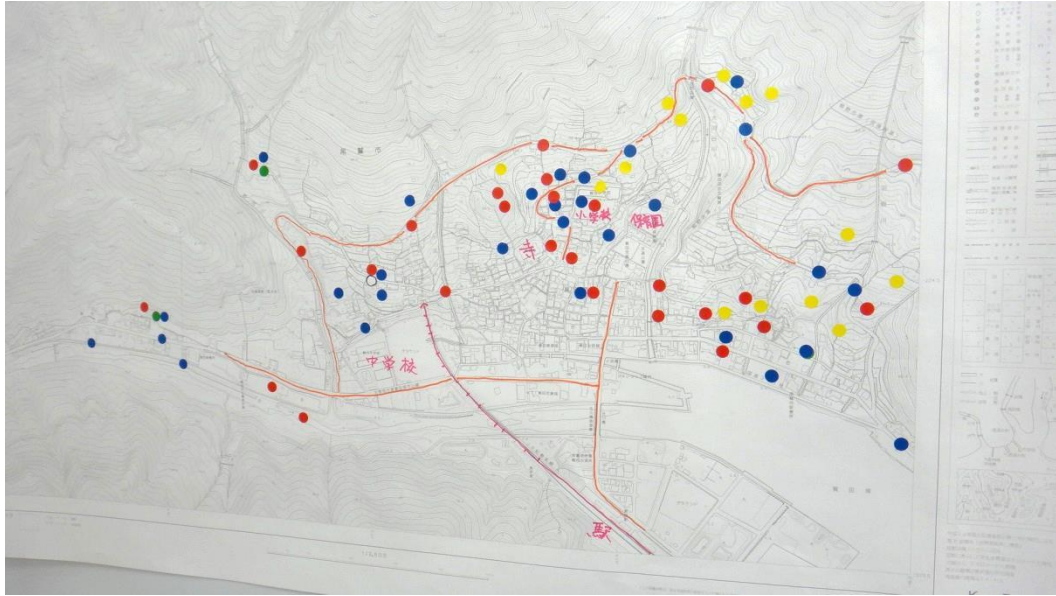
ことが大切です。

万が一遭遇してしまったときは、とにかく落ち着き、背中を見せずにゆっくりと後ずさりをして離れます。攻撃が避けられない場合には、地面に伏せて両手で首の後ろをガードし、頭と首を守ってください。

次に、住民の皆さんがシカやサルを目撃した場所と休耕地の場所について、地図上にシールで色分けして示していただきました。



（野生獣目撃マップの作成の様子）



(完成した野生獣目撃と休耕地のマップ 青=シカ, 赤=サル, 黄=休耕地)

この完成したマップから、サルやシカはどこから集落内に侵入し被害を及ぼしているのかについて推測し、必要な対策について紹介しました。

サルは恐怖を覚えればしばらく来なくなるため、見つけたら複数人で追い払いを行うこと、シカについては餌付けをしてわなで捕獲することを勧めました。どちらも、地区で協力して行うことが必要です。

囲いについては、ネットによる対策を多くの方がされていましたので、地面とネットの間をしっかりと留めることで、シカがネットの下からくぐってくるのを防ぐことを説明しました。また、電気柵や金属製の柵による対策を紹介しました。

最後に、T-3という追い払い用花火について紹介し、実際に住民の方々に試しに使用していただきました。



(T-3の紹介と使用体験の様子)

追い払い用花火はサルの追い払いをする際に使用します。T-3は火をつけると連続で5発打つことができます。尾鷲市から購入することができます。

皆さんとても積極的に参加されていて、今のシカやサルによる被害を減らしたいという強い気持ちを感じられました。この研修会で紹介させていただいた対策を今後地区で協力して実践していただき、賀田地区が獣害につよい集落となっていけたらと思います。

尾鷲市・紀北町内で獣害対策研修会の開催のご要望がありましたら、

尾鷲農林水産事務所 農政・農村基盤室 地域農政課

(0597-23-3498) までお問い合わせください。